

2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 テモナ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3985 URL <https://temona.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本多 渉
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO (氏名) 波多野 完治 (TEL) 03-6635-6452
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年9月期第1四半期 | 455 | △3.0 | 13 | △63.4 | 12 | △67.0 | 9 | △60.8 |
| 2025年9月期第1四半期 | 469 | △7.1 | 37 | — | 38 | — | 24 | — |

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 9百万円(△63.2%) 2025年9月期第1四半期 25百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年9月期第1四半期 | 0.89 | 0.89 |
| 2025年9月期第1四半期 | 2.26 | 2.26 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年9月期第1四半期 | 1,742 | 777 | 43.1 |
| 2025年9月期 | 1,766 | 767 | 42.0 |

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 751百万円 2025年9月期 741百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2026年9月期 | — | — | — | — | — |
| 2026年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 909 | △2.9 | △25 | — | △29 | — | △7 | — | △0.73 |
| 通期 | 2,025 | 10.5 | 60 | △61.5 | 49 | △67.4 | 41 | △43.8 | 3.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2026年9月期1Q | 11,438,920株 | 2025年9月期 | 11,438,920株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年9月期1Q | 738,017株 | 2025年9月期 | 739,217株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2026年9月期1Q | 10,700,336株 | 2025年9月期1Q | 10,682,886株 |

(注) 当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2025年9月期738,400株、2026年9月期1Q737,200株)を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料(ファクトシート)は、2026年2月13日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するもとで、各種政策の効果もあり緩やかな回復が期待されているものの、不安定な国際情勢に伴う原材料価格の高騰、アメリカの通商政策の影響による景気の下振れリスク、消費者物価の継続的な上昇などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する国内電子商取引市場は、「令和6年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、2024年のBtoC-EC市場規模が前年比5.1%増の26.1兆円、BtoB-EC市場規模が前年比10.6%増の514.4兆円となりました。また、ECの普及率を示す指標であるEC化率（※1）も、BtoC-ECで9.8%、BtoB-ECで43.1%と増加傾向が続いており、商取引の電子化は引き続き進展していくものと見込まれます。

このような経済環境のもと、当社グループは、持続的な成長を実現するため、経済の不透明性の中でも安定した収益を確保できる顧客のサブスクリプションビジネスを総合的に支援し、顧客の事業成長に貢献し続けることが成長の鍵だと考えております。そのため、顧客の事業成長を支援する既存サービスの機能強化と販売を推し進めるとともに、コスト構造の見直しや生産性の改善といった経営基盤の強化に注力してまいりました。また、既存事業の枠にとらわれず新たな事業の柱を創設すべく、新規事業の拡大にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、「サブスクアット」を利用したリアル店舗マーケット『BCモール』の商流に参画したことによる取引量の増加、システムエンジニアリングサービスの提供先増加やフィンテック事業の開始などの増益要因がありましたが、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益の減少や、「たまごレポート」の不正アクセスによるシステム障害による影響といった減収要因により売上高は455,791千円（前年同期比3.0%減）となりました。

売上原価は、リアル店舗マーケット『BCモール』、システムエンジニアリングサービス、フィンテック事業の取引増加による商品仕入原価や減価償却費の増加等により、233,128千円（前年同期比14.1%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、本社及び福岡事務所の移転に伴う地代家賃や減価償却費の減少等により、208,782千円（前年同期比8.3%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業利益13,879千円（前年同期比63.4%減）、経常利益12,663千円（前年同期比67.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,485千円（前年同期比60.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(a) EC支援事業

EC支援事業では、サブスクリプションビジネスに特化したECサイトを構成するシステムの提供や、サブスクリプションビジネスの運営を支援する集客、顧客対応、ロジスティクスなどに関連したサービスを提供しております。

EC支援事業におけるサービス別の業績を収益区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

| サービスの名称 | 収益区分 | 前第1四半期 連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日) | | 当第1四半期 連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日) | | 増減額 | 増減率 (%) | |
|------------|-------------|---|------------|---|------------|---------|------------|-------|
| | | 金額 | 構成比 (%) | 金額 | 構成比 (%) | | | |
| a | サブスクストア | リカーリング収益 | 74,075 | 20.3 | 69,832 | 22.0 | △4,242 | △5.7 |
| | | 受託開発収益 | 41,122 | 11.3 | 18,604 | 5.9 | △22,517 | △54.8 |
| | | その他収益 | 23,187 | 6.3 | 23,295 | 7.3 | 107 | 0.5 |
| | たまご リピート | リカーリング収益 | 73,751 | 20.2 | 49,250 | 15.5 | △24,500 | △33.2 |
| | | 受託開発収益 | 390 | 0.1 | - | - | △390 | - |
| | | その他収益 | 7,471 | 2.0 | 3,670 | 1.2 | △3,800 | △50.9 |
| 小計 | | 219,998 | 60.2 | 164,653 | 51.9 | △55,344 | △25.2 | |
| b | 決済 手数料 | GMV連動収益 | 110,047 | 30.1 | 97,323 | 30.7 | △12,724 | △11.6 |
| c | その他 | リカーリング収益 | 23,856 | 6.5 | 23,125 | 7.3 | △730 | △3.1 |
| | | 受託開発収益 | 3,374 | 0.9 | 3,042 | 1.0 | △332 | △9.8 |
| | | その他収益 | 8,110 | 2.2 | 29,222 | 9.2 | 21,111 | 260.3 |
| | 小計 | | 35,341 | 9.7 | 55,390 | 17.5 | 20,048 | 56.7 |
| 合計 (a+b+c) | | 365,387 | 100.0 | 317,368 | 100.0 | △48,019 | △13.1 | |

a. 「サブスクストア」及び「たまごリピート」のサービス利用アカウント総数は680件（前年同期比12.9%減）となったことや、「たまごリピート」への不正アクセスにかかるシステム障害による減収により、リカーリング収益（※2）が減少しました。また、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益（※3）も減少したことで、売上高は164,653千円（前年同期比25.2%減）となりました。

b. 当社グループの提供するサービスに係る流通総額は、「サブスクストア」及び「たまごリピート」のサービス利用アカウント総数の減少や、不正アクセスにかかるシステム障害による減少などから、284億円（前年同期比10.9%減）となり、GMV連動収益（※4）も、97,323千円（前年同期比11.6%減）となりました。

c. BtoB事業者向けのサービスである「サブスクストアB2B」のアカウント数が20件（前年同期比11.1%増）と増加した一方で、リアル店舗向けのサービスである「サブスクアット」のアカウント数（契約法人数）が169件（前年同期比2.9%減）と減少したことで、リカーリング収益は23,125千円（前年同期比3.1%減）となりました。一方で、「サブスクアット」を利用したリアル店舗マーケット『BCモール』の商流に参画したことによる取引量の増加等により、その他収益が29,222千円（前年同期比260.3%増）となりました。その結果、その他サービスの売上高は、55,390千円（前年同期比56.7%増）となりました。

以上の結果、EC支援事業の売上高は317,368千円（前年同期比13.1%減）、セグメント利益は6,116千円（前年同期比85.0%減）となりました。

(b) エンジニアリング事業

エンジニアリング事業では、株式会社サクルにおいて、システム開発の受託サービスや、顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスを提供しております。

システムエンジニアリングサービスの提供先増加により売上高は123,791千円（前年同期比18.6%増）となりました。また、セグメント利益は6,933千円（前年同期はセグメント損失3,359千円）となりました。

(c) フィンテック事業

フィンテック事業では、サブスクソリューションズ株式会社において、サブスク型ファイナンスサービスであるサブスククレジット等のサービスを提供しております。

フィンテック事業の売上高は14,631千円、セグメント損失は3,035千円となりました。

- ※1 EC化率 : 全ての商取引市場規模に対するEC市場規模の割合。
- ※2 リカーリング収益 : 利用した月に応じて定額で課金するサービスの収益。
- ※3 受託開発収益 : 当社のシステムのカスタマイズなど、受託開発による収益。
- ※4 GMV連動収益 : 顧客の流通総額に連動して発生する収益。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べて23,623千円減少し、1,742,530千円となりました。この主な要因は、フィンテック事業における貸貸資産の購入などにより現金及び預金が157,683千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて33,347千円減少し、965,176千円となりました。この主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が27,941千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて9,723千円増加し、777,354千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が9,485千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2026年1月13日の「連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,231,502 | 1,073,818 |
| 売掛金及び契約資産 | 158,076 | 204,683 |
| その他 | 114,768 | 125,731 |
| 貸倒引当金 | △1,849 | △2,887 |
| 流動資産合計 | 1,502,497 | 1,401,346 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 57,459 | 137,042 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 2,636 | 2,302 |
| のれん | 161,790 | 155,568 |
| 無形固定資産合計 | 164,426 | 157,871 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,250 | 2,250 |
| 繰延税金資産 | 5,192 | 10,078 |
| その他 | 39,150 | 38,499 |
| 貸倒引当金 | △4,821 | △4,557 |
| 投資その他の資産合計 | 41,771 | 46,270 |
| 固定資産合計 | 263,657 | 341,184 |
| 資産合計 | 1,766,154 | 1,742,530 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 67,226 | 77,924 |
| 短期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 129,548 | 131,708 |
| 未払法人税等 | 38,465 | 16,392 |
| その他 | 170,308 | 162,559 |
| 流動負債合計 | 605,548 | 588,583 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 384,899 | 354,798 |
| 株式給付引当金 | 2,848 | 1,851 |
| その他 | 5,228 | 19,943 |
| 固定負債合計 | 392,975 | 376,592 |
| 負債合計 | 998,524 | 965,176 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 386,921 | 386,921 |
| 資本剰余金 | 378,473 | 378,473 |
| 利益剰余金 | 555,124 | 564,609 |
| 自己株式 | △579,401 | △578,546 |
| 株主資本合計 | 741,117 | 751,458 |
| 新株予約権 | 23,517 | 23,132 |
| 非支配株主持分 | 2,994 | 2,763 |
| 純資産合計 | 767,630 | 777,354 |
| 負債純資産合計 | 1,766,154 | 1,742,530 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 469,807 | 455,791 |
| 売上原価 | 204,272 | 233,128 |
| 売上総利益 | 265,535 | 222,662 |
| 販売費及び一般管理費 | 227,641 | 208,782 |
| 営業利益 | 37,893 | 13,879 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 225 | 225 |
| 物品売却益 | — | 57 |
| 消費税等簡易課税差額収入 | 2,431 | — |
| その他 | 231 | 621 |
| 営業外収益合計 | 2,887 | 903 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,820 | 2,119 |
| 創立費 | 571 | — |
| 営業外費用合計 | 2,392 | 2,119 |
| 経常利益 | 38,388 | 12,663 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 4,347 | 385 |
| 資産除去債務戻入益 | 980 | — |
| 助成金収入 | — | 34,500 |
| 特別利益合計 | 5,327 | 34,885 |
| 特別損失 | | |
| システム障害対応費用 | — | 30,347 |
| 特別損失合計 | — | 30,347 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 43,716 | 17,201 |
| 法人税等 | 18,577 | 7,946 |
| 四半期純利益 | 25,138 | 9,254 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 966 | △230 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 24,172 | 9,485 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 25,138 | 9,254 |
| 四半期包括利益 | 25,138 | 9,254 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 24,172 | 9,485 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 966 | △230 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合、法定実効税率を用いて当該税金費用を計算しております。

(追加情報)

(システム障害対応費用の計上)

2025年10月24日に発生した第三者による不正アクセスによるシステム障害の対応に伴う費用30,347千円を、「システム障害対応費用」として特別損失に計上しております。主な内訳は、外部専門機関に対する調査費用やシステム復旧作業等に係る費用であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|----------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | EC支援事業 | エンジニア リング事業 | フィンテック 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 365,387 | 104,419 | — | 469,807 | — | 469,807 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 19,800 | 31,836 | — | 51,636 | △51,636 | — |
| 計 | 385,187 | 136,255 | — | 521,443 | △51,636 | 469,807 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 41,522 | △3,359 | △698 | 37,464 | 429 | 37,893 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額429千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|----------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | EC支援事業 | エンジニア リング事業 | フィンテック 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 317,368 | 123,791 | 14,631 | 455,791 | — | 455,791 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 937 | 77,596 | — | 78,534 | △78,534 | — |
| 計 | 318,305 | 201,388 | 14,631 | 534,325 | △78,534 | 455,791 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 6,116 | 6,933 | △3,035 | 10,015 | 3,864 | 13,879 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,864千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においてサブスクソリューションズ株式会社を新設したことに伴い、当社グループの事業領域が増加したため、前連結会計年度より「フィンテック事業」セグメントを追加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 7,970千円 | 12,567千円 |
| のれんの償却額 | 7,662 " | 6,222 " |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。